

教育目標、カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの検討の経緯

※主要な検討を抜粋

日時	会議名	協議事項等	意見、今後の取組等
2019 年度 ○カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの検討に並行し、各科目の点検を行い、2022 年度開始予定のカリキュラムに向け、教務委員会及び下部組織の各分野（普遍、専門基礎、専門）部会、新カリキュラム検討 WG での検討を開始した。			
6 月 23 日 (火)	第 1 回 新カリキュラム検討 WG	〔協議〕 ・新カリキュラムの作成に向けた、各分野から科目等の見直しに関する意見	・再度各分野で検討、整理して 7 月中を目処に再度検討する。
1 月 28 日	新カリキュラム検討 WG (拡大)	〔協議〕 ・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー（素案）について ・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの関連性について	・具体的で明確な CP、DP になっているか見直す。
2 月 3 日 (月)	第 10 回 教務委員会	〔協議〕 添付1 ・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー（WG 案）について ・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの関連性について	・ポリシー間の関連を再確認する。 ・わかりやすい表現にする。 ・各分野部会での意見を 2/20 までに集約する。
～2 月 20 日まで	各分野部会	〔協議〕 ・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー（第 10 回教務委員会案）について	添付2 ・第 10 回専門基礎分野部会（協議事項 2）
3 月 2 日 (月)	第 11 回 教務委員会	〔協議〕 ・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー（再修正案）について 〔報告〕 ・卒業生の満足度調査の結果について	添付3 ・第 11 回教務委員会意見をふまえた、再々修正案作成 ・再々修正案を入試委員会と確認する。 ・卒後 1 年目の修得度が低評価となったディプロマポリシー要素の強化が必要。
2020 年度 ○教育目標、3 ポリシーについて、学内での合意形成を図り、2022 年度開始予定のカリキュラムに向けた準備を計画的に行った。			
4 月 6 日 (月)	第 1 回 教務委員会	〔報告〕 ・教育目標、3 ポリシーを入試委員会と合意し、2022 年入学生から適用する。	・入試委員会と共に教授会へ提出する。
11 月 9 日 (月)	第 7 回 教授会	〔協議〕 ・新たな「教育目標」及び「3 ポリシーについて」	・一般にもわかりやすい表現とする。 ・全体カリキュラム完成後に再度確認する。
12 月 7 日 (月)	第 11 回 教務委員会	〔協議〕 ・2022 年度カリキュラムについて（変更理由、変更科目等の最終確認）	・全体カリキュラムについて合意。
2 月 1 日 (月)	第 14 回 教務委員会	〔協議〕 添付4 ・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーについて	・第 7 回教授会意見をふまえた修正案について、承認。
3 月 8 日 (月)	第 12 回 教授会	〔報告〕 ・新たな「教育目標」及び「3 ポリシー」について	・変更箇所について承認。 ・学則を変更する。
3 月 22 日 (月)	第 2 回 教育研究審議会 第 2 回 理事会	〔報告〕 ・新たな「教育目標」及び「3 ポリシー」について	・承認。 ・4 月に文部科学省へ学則の変更を申請する。
2021 年度 ○教育目標、3 ポリシー、教育課程を変更し 2022 年度入学生から適用することとした。			
4 月	宮崎県立看護大学看護学部看護学科の学則（教育課程）の変更を文部科学省に申請（9 月承認）		

添付 1

カリキュラム・ポリシー,ディプロマ・ポリシー 検討資料

1 教育理念

生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育成するとともに、深く高度な専門知識・技術を修得することによって、看護の果たすべき役割を追究し、社会の幅広い分野において、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。

さらに、看護学及び関連する学問領域の発展に寄与することを目的としています。

2 教育目標

- ① 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を伸ばします。
- ② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の 変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。
- ③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる基本的専門知識・技術を修得して個別な 看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。
- ④ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・ 福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。

3 アドミッション・ポリシー,カリキュラム・ポリシー,ディプロマ・ポリシー

1) アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

本学は、教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。

1. 健康と生活に関心を持ち、自立した日常生活力を身につけようとしている人
2. 他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを論理的に表現できる人
3. まわりの人に感謝し、自分を信じ人を信じ、みんなで伸びていこうとする人
4. 未知への好奇心と新しいことを受け入れて変化できる柔軟性をもつ人
5. 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に学ぶ姿勢をもつ人

2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針) WG案

現行	修正案
本学のカリキュラムは、すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を身につけることができるように編成しています。	すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を段階的、統合的に身につけることができる<u>カリキュラムを編成する。</u> <u>また、学生の主体的な学習を推進する教育方法をとりいれるとともに、学生のニーズをふまえ到達度が高まるように学修環境を整え、各授業科目の評価規準、基準を明確にした成績評価を行う。</u>
① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈<u>普遍分野</u>〉を配置します。	① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈<u>普遍分野</u>〉を配置<u>する。</u>
② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、内部構造への理解を深める〈<u>専門基礎分野</u>〉を配置します。	② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、内部構造への理解を深める〈<u>専門基礎分野</u>〉を配置<u>する。</u>
③ 看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を地域健康ネットワークの中に位置づけて理解する〈<u>専門分野</u>〉を配置します。	③ <u>看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する〈専門分野〉を配置する。</u>
④ これらを積み上げていく教育課程を縦に貫いて、学習の節目ごとに直接人々と接する体験 実習等を通して看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈<u>体験・統合科目</u>〉を配置します。	④ <u>〈普遍分野〉〈専門基礎分野〉〈専門分野〉の学修を積み上げ、人々と接する体験や実習等を通して、多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈体験・統合科目〉を配置する。</u>

	また、国際的視野を身に付けるため、異文化理解へ向けた教育を行う。
⑤ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業、専門科目では〈自己学習－グループ学習－個別指導－自己評価〉システムを取り入れ、科目間、分野間の連携をはかりながら学生の主体的な学習を促し、きめ細やかな個別指導を行います。さらに、学生が国際的視野を身につけるため、異文化理解へ向けた教育を行い、海外研修の機会も提供します。	⑤ <u>本質を追究する姿勢を育み、課題解決に組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。</u>
	⑥ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習－グループ学習－個別指導－自己評価〉システムを取り入れ、主体的な学習を推進する。

3) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針） WG案

現行	修正案
教育目標に対応させて、看護職をめざす卒業生として卒業時に身につけていることを望む姿として以下に示します。	<u>教育理念のもと、教育目標に対応させた以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したものに、学士（看護学）の学位を授与する。</u>
① 人間に対する深い理解と倫理観を身につけ、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を身につけている。	① 人間に対する深い理解と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性を身につけ、 <u>自己のもてる力を差し出せる。</u>
② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する基礎的能力を身につけている。	② <u>多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築くことができる。</u>
③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。	③ 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に関心を持ち、 <u>主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</u>
④ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。	④ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。
	⑤ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。
	⑥ <u>生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。</u>

ディプロマ・ポリシー カリキュラム・ポリシー	① 人間に対する深い理解と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性を身につけ、自己のもてる力を差し出せる。	② 多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築くことができる。	③ 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけている。	④ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見いだし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。	⑤ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。	⑥ 生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。
① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈普遍分野〉を配置する。	○	○	◎			○
② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、内部構造への理解を深める〈専門基礎分野〉を配置する。	○	○	○	◎		○
③ 看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する〈専門分野〉を配置する。	○	○		◎	◎	○

④ 〈普遍分野〉〈専門基礎分野〉〈専門分野〉の学修を積み上げ、人々と接する体験や実習等を通して、多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈体験・統合科目〉を配置する。 また、国際的視野を身に付けるため、異文化理解へ向けた教育を行う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
⑤ 本質を追究する姿勢を育み、課題解決に取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。			○	○	○	◎
⑥ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習－グループ学習－個別指導－自己評価〉システムを取り入れ、主体的な学習を推進する。	○	○	○	◎	○	○

添付 2

2019 年度（令和元年度） 第 10 回専門基礎分野部会 議事録

日時：令和 2 年 2 月 17 日（月） 10：40～12：15

場所：演習室 3

出席：田中、中尾、島内、邊木園、藏元、菅野

欠席：江藤、山岸、中村

<協議事項>

1. 試験の結果、内容などについて、情報共有した。人間常態学 II-1(代謝学)の結果では、20 点台から 90 点台まで差が大きく、暗記だけで理解していない、記述（思考を論理的に文章で説明）が苦手な学生が少なからずいると報告があった。マンツーマンであれば理解できるが、授業で大勢であれば、全く伝わっていない学生もいる。

1) 1 年次

- ・看護疾病論 I（山岸）
- ・人間常態学 I-2（田中）
- ・人間常態学 II-1(代謝学)（菅野）
- ・人間病態学 II-1（島内）
- ・精神保健学（江藤）
- ・健康行政・法規（中尾）

2. DP、CP 案について（メール添付資料）

教育目標の文言について、③「基本的」は削除でもよいのでは、DP の改訂にあわせて検討が必要。また、DP の①感性を身につけは、感性を磨き？などの意見があった。

3. 2022 新カリについての検討

- ・小河先生より、「自然界と看護」の位置付け、教育内容、看護人間学 1 との連携について、資料を用いて説明いただいた。
- ・1 年生の学修状況の課題から、1 セメでの専門基礎の基礎教育となる科目の必要性も感じる。専門基礎教員が考える必要な教育内容を検討していく。
- ・現カリキュラムの評価が明確でない。
- ・次回の部会で新カリでの科目案について検討することとした。3 月 13 日を目途に、各担当科目について菅野に送信することとした。

4. 働き方改革のへ対応について

研修会での資料（検討の視点例）をもとに、部会で意見交換した。各教員の最終意見を 18 日までに菅野に送信することとした。

5. その他

入力管理について、非常勤講師の場合、出席は講師がとって、入力事務局でしていただけるとよいと思う。

<報告事項>

- ・卒業研究ガイダンス 2 月 26 日（水）で使用するパワポと配付資料の変更がある場合は、21 日を目途に菅野に送信する。
- ・各担当で、R 元年度最終評価を 2 月末まで、R2 年度計画を 3 月末まで、に入力をする。

次回部会： 3 月 16 日（月） 16：00～ 演習室 3 にて

添付3**カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー 検討資料****1 教育理念**

生命の尊厳を基盤とした豊かな人間性を育成するとともに、深く高度な専門知識・技術を修得することによって、看護の果たすべき役割を追究し、社会の幅広い分野において、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。

さらに、看護学及び関連する学問領域の発展に寄与することを目的としています。

2 教育目標

現 行	修 正 案
① 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を伸ばします。	① 人間に対する <u>深い</u> 理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる <u>豊かな</u> 感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を伸ばします。
② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。	② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。
③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる基本的専門知識・技術を修得して個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。	③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる <u>基本的</u> 専門知識・技術を修得して <u>個別な看護ニーズを見だし</u> 、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。
④ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。	④ <u>自己の専門職に対する看護専門職者としての</u> 誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と <u>連携できる</u> 学際的調整能力を育みます。
	⑤ 生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を育みます。

3 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

1) アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

入試委員会

本学は、教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。

1. 健康と生活に関心を持ち、自立した日常生活力を身につけようとしている人
2. 他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを論理的に表現できる人
3. まわりの人に感謝し、自分を信じ人を信じ、みんなで伸びていこうとする人
4. 未知への好奇心と新しいことを受け入れて変化できる柔軟性をもつ人
5. 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に学ぶ姿勢をもつ人

2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

現行	修正案（WG案）	再修正案
本学のカリキュラムは、すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を身につけることができるように編成しています。	すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を段階的、統合的に身につけることができるカリキュラムを編成する。 <u>また、学生の主体的な学習を推進する教育方法をとりいれるとともに、学生のニーズをふまえ到達度が高まるように学修環境を整え、各授業科目の評価規準、基準を明確にした成績評価を行う。</u>	すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を段階的、統合的に身につけることができるカリキュラムを編成する。 また、学生の主体的な学習を推進する教育方法をとりいれるとともに、学生のニーズをふまえ到達度が高まるように学修環境を整える。 <u>さらに、各授業科目の評価規準、基準をシラバスで明示し、厳格で客観的な成績評価を行う。</u>

① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈 <u>普遍分野</u> 〉を配置します。	① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈 <u>普遍分野</u> 〉を配置する。	① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈 <u>普遍分野</u> 〉を配置する。
② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、内部構造への理解を深める〈 <u>専門基礎分野</u> 〉を配置します。	② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、内部構造への理解を深める〈 <u>専門基礎分野</u> 〉を配置する。	② 看護の対象である <u>人間の身体・精神・社会関係の仕組み</u> をより詳しく見つめ、理解を深める〈 <u>専門基礎分野</u> 〉を配置する。
③ 看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を地域健康ネットワークの中に位置づけて理解する〈 <u>専門分野</u> 〉を配置します。	③ <u>看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する〈専門分野〉を配置する。</u>	③ 看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する〈 <u>専門分野</u> 〉を配置する。
④ これらを積み上げていく教育課程を縦に貫いて、学習の節目ごとに直接人々と接する体験 実習等を通して看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈 <u>体験・統合科目</u> 〉を配置します。	④ 〈 <u>普遍分野</u> 〉〈 <u>専門基礎分野</u> 〉〈 <u>専門分野</u> 〉の学修を積み上げ、人々と接する体験や実習等を通して、 <u>多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈体験・統合科目〉を配置する。</u> また、 <u>国際的視野を身に付けるため、異文化理解へ向けた教育を行う。</u>	④ 〈 <u>普遍分野</u> 〉〈 <u>専門基礎分野</u> 〉〈 <u>専門分野</u> 〉の学修を積み上げ、人々と接する体験や実習等を通して、多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈 <u>体験・統合科目</u> 〉を配置する。 また、 <u>国際的視野を身に付けるため、異文化理解へ向けた教育を行う。</u>
⑤ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学	⑤ <u>本質を追究する姿勢を育み、課題解決に取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態</u>	⑤ <u>物事の本質を追究する姿勢を育み、課題解決に</u> 取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研

生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業、専門科目では〈自己学習－グループ学習－個別指導－自己評価〉システムを取り入れ、科目間、分野間の連携をはかりながら学生の主体的な学習を促し、きめ細やかな個別指導を行います。さらに、学生が国際的視野を身につけるため、異文化理解へ向けた教育を行い、海外研修の機会も提供します。	<u>度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。</u>	究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。 ●WG案の追加(前回反映漏れ)
	⑥ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習－グループ学習－個別指導－自己評価〉システムを取り入れ、主体的な学習を推進する。	⑥ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習－グループ学習－個別指導－自己評価〉システムを取り入れ、主体的な学習を推進する。

3) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

現行	修正案	
教育目標に対応させて、看護職をめざす卒業生として卒業時に身につけていることを望む姿として以下に示します。	<u>教育理念のもと、教育目標に対応させた以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したものに、学士（看護学）の学位を授与する。</u>	教育理念のもと、教育目標に対応させた以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したものに、学士（看護学）の学位を授与する
① 人間に対する深い理解と倫理観を身につけ、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる <u>温かい心</u> を身につけている。	① 人間に対する深い理解と倫理観を持ち、 <u>人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性を身につけ、自己のもてる力を差し出せる。</u>	① 人間に対する <u>深い理解</u> と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる <u>豊かな感性</u> を身につけ、自己のもてる力を差し出せる。 ●意見1：「感性を磨き、」 → 教育をうけた結果の表現なので「身につけ」 ●意見2：評価者の主観が入り易い表現を除く
② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する基礎的能力を身につけている。	② <u>多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築くことができる。</u>	② 多様な価値観を尊重し、他者との <u>豊かな人間関係</u> を築くことができる。 ●意見：評価者の主観が入り易い表現を除く
③ さまざまな健康状態の人々に関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。	③ 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に <u>関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</u>	③ 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけている。

④ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。	④ <u>さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。</u>	④ <u>さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、<u>個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。</u></u> ●意見：
	⑤ 自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。	⑤ 自己の専門職に対する<u>看護専門職としての</u>誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。 ●意見：看護師のみ
	⑥ <u>生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。</u>	⑥ 生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。

教授会(11/9)の指摘事項に対する修正案

令和4年度から適用する「教育理念」「教育目標」「アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー」について

1 教育理念

改正（案）	現行	備考欄
（略）	（略）	（変更なし）

2 教育目標

改正（案）	現行	備考欄
① 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を伸ばします。	① 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を伸ばします。	（変更なし）
② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。	② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。	（変更なし）
③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる_____専門知識・技術を修得して個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。	③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる 基本的 専門知識・技術を修得して個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。	（削除）
④ <u>看護専門職者としての誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。</u>	④ <u>自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。</u>	（変更）
⑤ <u>生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を育みます。</u>		（新設）

3 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

1) アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

改正(案)	現行	備考欄
① <u>人々の健康と生活に関心を持ち、自らも生活を整える力を身につけようとしている人</u>	① _____健康と生活に関心を持ち、 <u>自立した日常生活力を身につけようとしている人</u>	(追加) (変更)
② <u>積極的に他者と関わり、相手の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを_____表現できる人</u>	② _____、 <u>他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを論理的に表現できる人</u>	(追加) (変更) (削除)
③ <u>多様な個性やさまざまな考え方を尊重し、まわり_____に感謝しながら、みんなで伸びていこうとする人</u>	③ _____ <u>まわりの人に感謝し、自分を信じ人を信じ、みんなで伸びていこうとする人</u>	(追加) (削除)
④ <u>社会の動向への関心や未知への好奇心を持ち、新しいことを受け入れて変化できる_____人</u>	④ _____未知への好奇心と <u>新しいことを受け入れて変化できる柔軟性をもつ人</u>	(追加) (変更) (削除)
⑤ <u>大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に<u>学び、考える姿勢</u>をもつ人</u>	⑤ 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に <u>学ぶ_____姿勢をもつ人</u>	(変更) (追加)

2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

改正(案)	現行	備考欄
____、すべての人々への健康の学習と実践を願った<u>ナース・ナース</u>看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを<u>手助け支援</u>できる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を<u>段階的、統合的に身につけることができるカリキュラムを編成する。</u> <u>また、学生の主体的な学修を推進する教育方法を取り入れるとともに、学生のニーズをふまえ到達度が高まるように学修環境を整える。</u> <u>さらに、各授業科目の評価規準、基準をシラバスで明示し、厳格で客観的な成績評価を行う。</u>	本学のカリキュラムは、すべての人々への健康の学習と実践を願ったナース・ナース看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を____身につけることができる<u>ように編成しています。</u>	(削除) (追加)
① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を<u>育む取り巻く</u>自然、社会、文化的環境について<u>学修する〈普遍分野〉を配置する。</u>	① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について<u>学習する〈普遍分野〉を配置します。</u>	(変更)
② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見詰め、これらの仕組みについて<u>理解を深める〈専門基礎分野〉を配置する。</u>	② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見詰め、<u>内部構造への理解を深める〈専門基礎分野〉を配置します。</u>	(変更)
③ <u>看護の基盤となる考え方と方法を学び、</u>看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を<u>人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する。また、学習の節目ごとの実習を通して多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていく〈専</u>	③ _____看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を<u>地域健康ネットワークの中に位置づけて理解する〈専門分野〉を配置します。</u>	(追加) (変更)

門分野)を配置する。		
④ <u>〈普遍分野〉〈専門基礎分野〉〈専門分野〉の学修を積み上げ、人々と接する体験や実習等を通して、多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護師としての自らの成長を自己評価し、発展させていく統合させながら、看護の実践能力を高め、生涯にわたり看護学を追究・発展できるように〈看護統合〉を配置する。</u> <u>また、国際的視野を身に付けるため、異文化理解へ向けた教育を行う。</u> ③・④⇒フィールド体験実習？	④ これらを積み上げていく教育課程を縦に貫いて、学習の節目ごとに直接人々と接する体験や実習等を通して _____ 看護師としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈体験・統合科目〉を配置します。	(変更) (追加)
⑤ <u>物事の本質を追究する姿勢を育み、課題解決に取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。</u>		(新設)
⑥ 到達目標に照らして自己評価しながら学修する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習ーグループ学習ー個別指導ー自己評価〉システムを取り入れ、_____ 主体的な学修を推進する。	⑤ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業、_____ 専門科目では〈自己学習ーグループ学習ー個別指導ー自己評価〉システムを取り入れ、科目間、分野間の連携をはかりながら学生の主体的な学習を促し、きめ細やかな個別指導を行います。さらに、学生が国際的視野を身につけるため、異文化理解へ向けた教育を行い、海外研修の機会も提供します。	(変更) (削除)

3) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

改正(案)	現行	備考欄
<u>教育理念のもと、教育目標に対応させた以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したものに、学士（看護学）の学位を授与する。</u>	<u>教育目標に対応させて、看護職をめざす卒業生として卒業時に身につけていることを望む姿として以下に示します。</u>	(追加) (変更)
① 人間に対する____理解と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる____感性を身につけ、自己のもてる力を差し出せる_____。	① 人間に対する深い理解と倫理観を身につけ、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる<u>豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を身につけている。</u>	(削除) (変更)
② <u>多様な価値観個性やさまざまな考え方を尊重し、他者との人間関係を築くことができる。</u>		(新設)
③ 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に<u>関心を持ち、主体的_____に学ぶ姿勢を身につけている。</u>	② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に_____主体的・創造的に対応する基礎的能力を身につけている。	(変更) (追加) (削除)
④ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。	③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる基礎的能力を身につけている。	(変更)
⑤ <u>看護専門職者としての誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と看護専門職者として協働できる力を身につけている。</u>	④ <u>自己の専門職に対する誇りと責任感をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と専門職者として協働できる力を身につけている。</u>	(変更)
⑥ <u>生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を持ち、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。</u>		

添付 5

宮崎県立看護大学看護学部看護学科
令和 4 年度適用「教育目標」、「アドミッション・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」及び「ディプロマ・ポリシー」について

1 教育目標

改正前	改正後
① 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己の <u>もてる力</u> を差し出せる温かい心を伸ばします。	① 人間に対する深い理解と倫理観を培い、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる豊かな感性と自己の <u>持てる力</u> を差し出せる温かい心を伸ばします。
② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。	② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考できる能力と、社会情勢の変化や科学技術の発達に主体的・創造的に対応する能力を育みます。
③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる <u>基本的専門知識・技術</u> を修得して個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。	③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる_____専門知識・技術を修得して個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいて対応できる実践的問題解決能力を育みます。
④ <u>自己の専門職に対する誇りと責任感</u> をもち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。	④ <u>看護専門職者としての誇りと責任感</u> を持ち、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と連携できる学際的調整能力を育みます。
	⑤ <u>生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を身につけ、看護学の発展に寄与するための基礎的能力</u> を育みます。

2 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

1) アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

改正前	改正後
教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めています。 ① _____ 健康と生活に関心を持ち、<u>自立した日常生活力</u>を身につけようとしている人 ② _____ 他者の言葉に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを<u>論理的に</u>表現できる人 ③ _____ まわりの<u>人</u>に感謝し、<u>自分を信じ人を信じ、みんなで伸びていこうとする</u>人 ④ _____ 未知への好奇心と新しいことを受け入れて変化できる柔軟性をもつ人 ⑤ 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に<u>学ぶ</u>姿勢をもつ人	教育理念・目的にもとづき、次のような資質を持った学生を求めている。 ① 人々の健康と生活に関心を持ち、<u>自らも生活を整える力</u>を身につけようとしている人 ② <u>積極的に他者と関わり、相手の言葉</u>に耳を傾け、自分の言葉で自分の思いや考えを_____表現できる人 ③ <u>多様な個性やさまざまな考え方を尊重し</u>、まわり_____に感謝し_____、みんなで伸びていこうとする人 ④ <u>社会の動向への関心や未知への好奇心</u>を持ち、新しいことを受け入れて変化できる_____人 ⑤ 大学で学ぶために必要な基礎学力を有し、主体的に<u>学び、考える</u>姿勢をもつ人

2) カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

改正前	改正後
本学のカリキュラムは、すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤とし、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを手助けできる看護職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育てながら、体験を通して看護学の概念と実践的能力を身につけることができるように編成しています。 ① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を育む自然、社会、文化的環境について学習する〈<u>普遍分野</u>〉を配置します。 ② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、内部構造への理解を深める〈<u>専門基礎分野</u>〉を配置します。 ③ 看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を地域健康ネットワークの中に位置づけて理解する〈<u>専門分野</u>〉を配置します。	すべての人々への健康の学習と実践を願ったナイチンゲール看護論を基盤に、生命の尊さを知り、人々の生命力を高め、心に働きかけ、人々のセルフケア・セルフコントロールを支援できる看護専門職者の育成をめざし、科学的なものの見方・考え方を育て、体験を通して看護学の概念と実践的能力を段階的、統合的に身につけることができるカリキュラムを編成する。 また、学生の主体的な学修を推進する教育方法を取り入れ、学生のニーズをふまえ到達度が高まる環境を整える。 さらに、各授業科目の評価規準、基準をシラバスで明示し、厳格で客観的な成績評価を行う。 ① 人間についての総合的理解を深め、自己の人間性を豊かにする幅広い教養と状況に対応できる判断力を養うため、人間を取り巻く自然、社会、文化的環境について学修する<u>普遍分野</u>を配置する。 ② 看護の対象である人間の身体・精神・社会関係をより詳しく見つめ、これらの仕組みについて理解を深める<u>専門基礎分野</u>を配置する。 ③ 看護の基盤となる考え方と方法を学び、看護の対象を、地域社会の中のある家族の一員として個別なライフスタイルを送る人間として捉え、看護の専門性を人々の健康を守るネットワークの中に位置づけて理解する。また、学修の節目ごとの実習を通して多様な価値観を尊重し、他者との豊かな人間関係を築く力を養い、看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていく<u>専門分野</u>を配置する。

④ これらを積み上げていく教育課程を縦に貫いて、学習の節目ごとに直接人々と接する体験や実習等を通して看護者としての自らの成長を自己評価し、発展させていくための〈体験・統合科目〉を配置します。

⑤ 到達目標に照らして自己評価しながら学習する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業、_____専門科目では〈自己学習ーグループ学習ー個別指導ー自己評価〉システムを取り入れ、科目間、分野間の連携をはかりながら学生の主体的な学習を促し、きめ細やかな個別指導を行います。さらに、学生が国際的視野を身につけるため、異文化理解へ向けた教育を行い、海外研修の機会も提供します。

④ 普遍分野、専門基礎分野、専門分野の学修を統合させながら、看護の実践能力を高め、生涯にわたり看護学を追究・発展できるように〔看護統合〕を配置する。
また、国際的視野を身につけるため、異文化理解へ向けた教育を行う。

⑤ 物事の本質を追究する姿勢を育み、課題解決に取り組む意味や面白さを経験し、将来にわたる研究的態度が身につけられるように、科目間、分野間で連携した教育を行う。

⑥ 到達目標に照らして自己評価しながら学修する双方向授業を基本として、学生参加型の少人数グループワークや視聴覚教材・教育メディアを活用した授業を行う。また、専門科目では〈自己学習ーグループ学習ー個別指導ー自己評価〉システムを取り入れ、_____主体的な学修を推進する。

3) ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

改正前	改正後
<u>教育目標に対応させて、看護職をめざす卒業生として卒業時に身につけていることを望む姿として以下に示します。</u>	<u>教育理念のもと、教育目標に対応させた以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得したものに、学士（看護学）の学位を授与する。</u>
① 人間に対する<u>深い理解と倫理観を身につけ</u>、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる<u>豊かな感性と自己のもてる力を差し出せる温かい心を身につけている。</u>	① 人間に対する_____理解と倫理観を持ち、人々の喜びや悲しみ、痛みや苦しみを分かちあえる_____感性を身につけ、自己の<u>持てる力を差し出せる</u>_____。
② 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に_____主体的・創造的に対応する<u>基礎的能力を身につけている。</u>	② <u>多様な個性やさまざまな考え方を尊重し、他者との人間関係を築くことができる。</u>
③ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる<u>基礎的能力を身につけている。</u>	③ 人間を取り巻く自然、社会、文化関係を総合的な視野から思考し、社会情勢の変化や科学技術の発達に<u>関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</u>
④ 自己の専門職に対する<u>誇りと責任感をもち</u>、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と<u>専門職者として協働できる力を身につけている。</u>	④ さまざまな健康状態の人々と関わることのできる専門知識・技術を修得し、個別な看護ニーズを見だし、科学的根拠に基づいた実践ができる<u>基礎的能力を身につけている。</u>
⑤ <u>看護専門職者としての誇りと責任感をもち</u>、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と_____協働できる力を身につけている。	⑤ <u>看護専門職者としての誇りと責任感をもち</u>、看護の果たすべき役割を追究し、保健・医療・福祉等関連領域の人々と_____協働できる力を身につけている。
	⑥ <u>生涯を通して自己研鑽する姿勢と、創造的に取り組む力を持ち、看護学の発展に寄与するための基礎的能力を身につけている。</u>